

サッカー部会

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35

- 部会長 温水浩太
副部会長 坂下真太郎
運営幹事 下徳友樹
会計幹事 久保隆之
部会員 石井達也・岩元隆道・牛谷祐介・内村卓哉
江夏徳次郎・鎌田直樹・神脇清太・川田匠
黒木興輔・黒木裕二・小路明洋・國分葉月
佐伯浩文・塩浦卓将・津貫嗣宝・常盤尚揮
外村純一・原口丈太郎・東信一郎・東迫紀憲
枇杷木由香理・福留隼人・藤岡将弘・堀之内博樹
堀之内航・前田和範・又木啓仁・丸山亮馬
三角景志・宮島勇太・宮脇佳亨・森春允
山本勇介・吉留芳恵・和田幸太郎

※上記以外の正会員で部会の趣旨に賛同される方

【基本方針】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会情勢は激変し2022年もコロナと共存していく社会が求められます。デジタルトランスフォーメーションの需要が一気に高まっていくなかで、WEB会議などのIT技術の活用が身近なものとなっています。一方で、身近な人同士の直接的なつながりが希薄となり、コミュニティの欠如が生まれていることは否めません。コミュニティの再構築によりメンバー同士の結束を強めることが必要です。

LOMでは昨年の九州大会において、参加人数11人ジャスト、満身創痍の状態ですら予選突破を果たし、特に予選最終戦は、先輩方の獅子奮迅の活躍もあり先制されながらも終了間際に逆転した試合では、強い感動を共有し一体感が生まれました。

このような感動は選手としてではなく、選手とは異なる役割を担うメンバーとして参加しても必ず共有でき、メンバー同士の親交を深めることが思いを共有する近道だと考えます。そのため、年間を通じた練習、他部会との合同練習や家族を含めた催し、他LOMとの対外交流の機会を設け、コミュニティの構築に繋がります。

さらには、連絡ツールとして使用するLINEを活用し、サッカーに関する名言や活動事例を継続的に発信します。一流選手の思考や言葉にはその時々結果を見直し、振り返るときのパワーがこめられていますので、行動や思想について考えるきっかけをつくり、

36 心身ともによりよい変化をもたらすよう取り組みます。

37

38 サッカー部会を通じ、委員会やLOMの垣根を超えた交流や情報共有など、様々な経験を
39 コミュニティの再構築につなげていきます。そのコミュニティから生まれるLOMメン
40 バー同士の絆や友情がLOM全体、都城圏域、部会員自身の発展に寄与すると確信します。

41

42

43 **【事業計画】**

44 1. 第32回九州地区JCサッカー選手権大会2022 in霧島への参加

45 2. サッカーに関する情報発信

46 3. 野球部会、太鼓部会との合同練習

47 4. 家族交流イベント